

音色、デモソング、MIDIプログラム・チェンジ・ナンバー

CC0：音色のバンクセレクト(MSB)はすべて121

CC32PC 音色	曲名/作者
0 0	PIANO 1(イタリアン・コンサート・ピアノ)：蝶々 抒情小品集 第3集 OP.43-1/E.グリーグ(played by Katsuhiko Oguri)
0 1	PIANO 2(バラード・ピアノ)：ポロティン風に/M.ラヴェル(played by Katsuhiko Oguri)
0 4	E.PIANO1(ステージ・エレクトリック・ピアノ)：Jam Session/Naoki Nishi
0 5	E.PIANO2(デジタル・エレクトリック・ピアノ)：In Memory/Michael Geisel
0 6	HARPSICHORD(ハープシコード)：上きげん/J.P.ラモー（played by Katsuhiko Oguri)
0 19	P.ORGAN(パイプ・オルガン)：トッカータ 二短調/J.S.バッハ
0 16	E.ORGAN(エレクトリック・オルガン)：Improvisation/Michael Geisel
0 48	STRINGS(ストリングス)：「バガニエーの主題による狂詩曲」より第18変奏/S.ラフマニノフ(arranged and played by Katsuhiko Oguri)

故障とお思いになる前に

故障かなと思ったときは、次の事項を確認してください。それでも症状が改善されないときには、お客様相談窓口までお問い合わせください。

電源が勝手にオフになる

本機は鍵盤を弾かない状態が30分以上続くと、オート・パワー・オフ機能が働き自動的に電源が切れます。改めて使用するときは、もう一度電源ボタンを押して、電源を入れてください。




音が途切れてしまう

本機の音色は、元になる楽器の音をサンプリング(録音)し、分析/加工してつくられています。音色によって1つの鍵盤を押すと、サンプリング・データの1つを鳴らす音色と、2つまたは3つを鳴らす音色があります。本機では、ほとんどの音色で2つのデータを鳴らします。この場合、ダンパー・ペダルを踏んでいるときも含め、同時に発音できる音数は60音となります。イタリアン・コンサート・ピアノは3つのデータを鳴らすため同時に発音できる音数は40音となり、ステージ・エレクトリック・ピアノは1つのデータを鳴らすため120音となります。

特定の音域でピアノ音色の音程、音質がおかしい

ピアノ音色では、ピアノ本体の音をできるかぎり忠実に再現しようとしています。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音程や音質が異質に感じる場合がありますが、これは、サンプリングされたオリジナル楽器の音響的性質を反映したためで、本機の不良ではありません。

仕様

鍵盤	LS鍵盤(ペロシティ対応) 88鍵(A0～C8)	消費電力	5W
最大同時発音数	120音/60音/40音	質量(譜面立て含まず)	6.0kg
音色数	8音色		8.4kg(付属のスタンド含む)
接続端子	外形寸法(突起物含む、譜面立て含まず)	付属品	
 (ヘッドホン) 端子(ヘッドホン/ライン・アウト兼用)、USB()	1282(W) x 290(D) x 73(H)mm	ACアダプター()、譜面立て、ペダル・スイッチ(PS-3)、スタンド(型番L1SPのみ)、取扱説明書	
端子(TYPE B)、DAMPER端子、DC IN端子	1282(W) x 457(D) x 781(H)mm(付属のスタンド含む)	アクセサリー (別売)	
アンプ出力	8W×2	ダンパー・ペダルDS-1H、ペダル・スイッチPS-1	
スピーカー	8cm x 2	動作環境(USB接続)	
電源		最新のOS対応状況については、コルグ・ウェブサイトをご覧ください。	
電源アダプター： ACアダプター (DC 12V)		https://www.korg.com/support/os/	
電池： 単3形電池(アルカリ乾電池またはニッケル水素電池) x 6(別売)			
電池寿命	約8時間(アルカリ乾電池使用時)		
・仕様および外装は、改良のため予告なく変更することがあります。			

鍵盤を左側と右側で分けて、2人の演奏者が同様の音域で演奏をすることもできます(パートナー・モード)。METRONOMEボタンを押しながら電源ボタンを押して、電源をオンにしてください。詳細は下記のコルグ・ウェブサイトから「パートナーモード、USB-MIDI/USB-AUDIO説明書」をダウンロードし参照してください。	www.korg.com
--	---------------------

保証規定（必ずお読みください）

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類（ヘッドホンなど）は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

- 本保証書の有効期間はお買い上げ日より1か年です。
- 次の修理等は保証期間内であっても有償となります。
 - 消耗部品（電池、スピーカー、真空管、フェーダーなど）の交換。
 - お取扱い方法が不適当のために生じた故障。
 - 天災（火災、浸水等）によって生じた故障。
 - 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
 - 不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
 - 保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
 - 本保証書の提示がない場合。
- 尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3か月以内に限り無償修理いたします。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。詳しくは、お客様相談窓口までお問い合わせください。
- 修理、運送費用が製品の価格より高くなる場合がありますので、あらかじめお客様相談窓口へご相談ください。発送にかかる費用は、お客様の負担とさせていただきます。
- 修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合においても一切行っておりません。

本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。


■ お願い

- 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
- 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

コルグ Liano	保証書
本保証書は、上記の保証規定により無償修理をお約束するものです。	
お買い上げ日	年 月 日
販売店名	

アフターサービス

修理および商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

お客様相談窓口  0570-666-569
一部の電話ではご利用になれません。固定電話または携帯電話からおかけください。
受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00(祝日、窓口休業日を除く)

- サービス・センター：
〒168-0073 東京都杉並区下高井戸 1-15-10

株式会社コルグ

本社：〒206-0812 東京都稲城市矢野口 4015-2
©2021 KORG INC. Published 01/2022 Printed in Vietnam





Liano

DIGITAL PIANO

型番：L1, L1SP (スタンド付き)
このたびはコルグ デジタル・ピアノLianoをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください
ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。




	火災・感電・人身障害の危険を防止するには
図記号の例	
	△記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘記号は、禁止（してはいけないこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

デジタル・ピアノは、ご家庭の中で身近において、お子さまから専門家の方まで幅広くご愛用いただけます。デジタル・ピアノは大きくて非常に重いものです。安全に使用していただくためにも、室内での設置場所や日常の取り扱いについては、十分に注意してください。また、設置や移動の際は必ず2人で行ってください。小さなお子様がご使用になる場合は、ご家族の方が最初に教えてあげてください。

警告




この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります。

- **ACアダプターのプラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。**
 - ACアダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。感電やショートの恐れがあります。
 - 本製品はコンセントの近くに設置し、ACアダプターのプラグへ容易に手が届くようにする。
-  次のような場合には、直ちに電源を切ってACアダプターのプラグをコンセントから抜く。
 - ACアダプターが破損したとき
 - 異物が内部に入ったとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき
修理が必要なときは、お客様相談窓口へ依頼してください。
-  本製品を分解したり改造したりしない。
-  修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。
- ACアダプターのコードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプターのコードの上に重いものをのせない。コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。
- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管をしない。
- 振動の多い場所で使用や保管をしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管をしない。

KORG



取扱説明書

J 2

-  風呂場、シャワー室で使用や保管をしない。
-  雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管をしない。
- 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- 本製品に液体をこぼさない。
-  濡れた手で本製品を使用しない。

注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります。

- **正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。**
- **ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。**ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。本製品をテレビ等の横に設置すると、本製品の磁場によってテレビ等の故障の原因になることがあります。
- **外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。**
- **ACアダプターをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。**
- **本製品の移動時は、本体とスタンドを別にし、必ず2人以上で持ち上げる。**
- **長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。**
- **電池は幼児の手の届かないところへ保管する。**
-  **長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜く。**
-  **付属のACアダプターは他の電気機器で使用しない。**付属のACアダプターは本製品専用です。他の機器では使用できません。
- **指定のACアダプター以外は使用しない。**
- **他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。**本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- **電池を過度の熱源（日光、火など）にさらさない。**
- **スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。**故障の原因になります。
- **外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーを使用しない。**
- **不安定な場所に置かない。**本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。
- **本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。**本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。
- **本製品の隙間に指などを入れない。**お客様がけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。
- **地震時は本製品に近づかない。**
- **本製品に前後方向から無理な力を加えない。**本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。

*すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

演奏を楽しむためのエチケット
音楽を楽しむときには、周囲への音の配慮も大切です。演奏する時間によって、音量調節をしたり、ヘッドホンを使用しましょう。また、ヘッドホン使用時、または小さな音量での演奏時に、鍵盤の機構上若干のメカニズム音が聞こえます。あらかじめご了承ください。

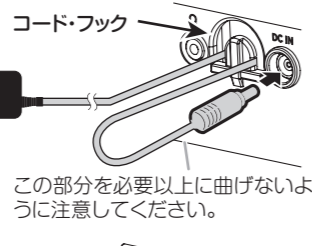
準備

本機の取扱説明書は以下のように構成されています。

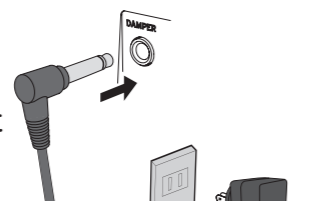
- ・取扱説明書(印刷物)(本書)
 - ・パートナーモード、USB-MIDI/USB-AUDIO説明書(PDF)
 - ・MIDIインプリメンテーション・チャート(PDF)
 - ・スタンド組み立て説明書(印刷物)(型番L1SPのみ)
- PDFは以下よりダウンロードしてください。
www.korg.com

型番L1SPはスタンドを付属しています。スタンドを組み立ててピアノ本体を固定し、ピアノを安定させてから、以下の手順で準備してください。

1. 付属のACアダプターのDCプラグを、後面のDC IN端子に接続する。



2. 付属のダンパー・スイッチを後面のDAMPER端子に接続する。



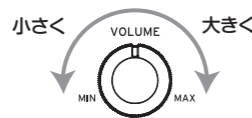
3. ACアダプターのプラグをコンセントに接続する。

4. 電源をオンにする。

電源ボタンを長押しして電源をオンにします。電源LEDが点灯します。電源をオフにするときは、電源ボタンをもう一度長押しして、電源LEDを消灯します。

5. 音量を調節する。

実際に弾きながら適度な音量に調節してください。VOLUMEノブは、本体のスピーカーとヘッドホン端子から出力される音量をコントロールします。



■ 電池を使うときは

本機は電池による使用も可能です。

- ⚠ 電池は付属されていません。別途お買い求めください。
- ⚠ 新しい電池と古い電池、異なる種類の電池を一緒に使わないでください。液漏れや破裂の恐れがあります。
- ⚠ 使い終えた電池は、すぐに取り出してください。液漏れや破裂の恐れがあります。

1. 本体の電源が切れていることを確認した後、本体裏面の電池カバーを開けます。

⚠ 本機の電池ボックスは底面にあります。裏返す際は、ノブやボタンなどを守るため、厚手の毛布などの上に置いて作業してください。

2. 単3形電池(別売)6本を入れます。

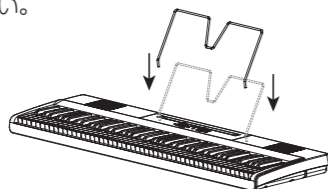
電池の向きを間違えないように注意してください。

3. 電池カバーを閉めます。

⚠ 本機は電池容量が少なくなると、電源LEDが点滅します。ACアダプターを接続するか、新しい電池に交換してください。

■ 譜面立てを使うときは

譜面立て用穴に付属の譜面立てを装着します。

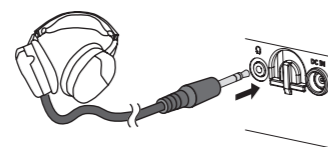


■ ヘッドホンを使うときは

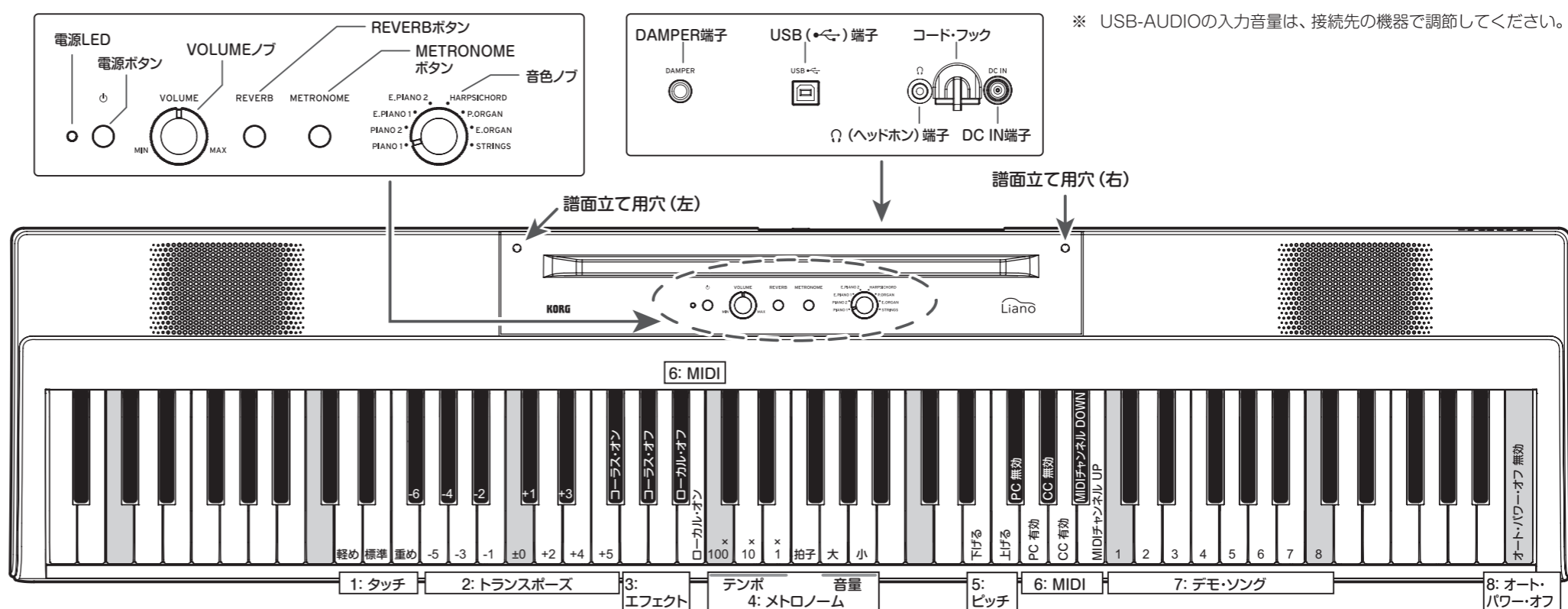
本体裏面にあるヘッドホン端子に、ヘッドホンのステレオ・ミニ・プラグを差し込みます。ヘッドホン差し込むと、本体のスピーカーからは音が出なくなります。

・本機のヘッドホン端子は、オーディオ機器やアンプ付きスピーカーを接続する、ライン・アウト端子として使用できます。

⚠ ヘッドホンを使用する際は、耳の保護のために大きな音量のまま長い時間聞かないでください。



各部の名称と機能

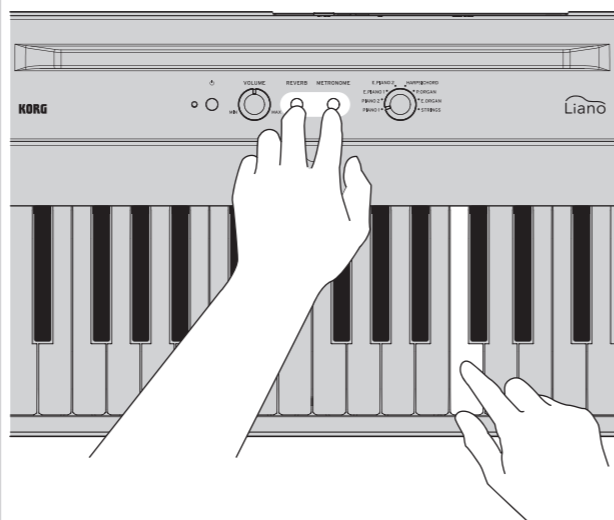


音色をかえて弾いてみましょう

音色は8種類内蔵しています。音色ノブを回して音色を選びます。

いろいろな機能

本機は、REVERBボタンとMETRONOMEボタンを同時に押しながら特定の鍵盤を押すことで、以下の8個の機能を使うことができます。



⚠ REVERBボタンとMETRONOMEボタンを同時に押ししているときは、演奏しないでください。予期せぬ設定になることがあります。

1: タッチ

鍵盤の重さの印象を「軽め」「標準」「重め」にします。「軽め」では軽く押しでも大きめの音が出て、「重め」では強めに押さないと大きな音が出ません。電源を入れたとき(初期設定)は標準です。

2: トランスポーズ(移調)

-6(半音)から-1(半音)、+1(半音)から+5(半音)のいずれかの鍵盤を押すとトランスポーズします。±0を押すとトランスポーズなし(±0)の設定になります。電源を入れたとき(初期設定)はトランスポーズなしです。

3: エフェクト(コーラス)

エフェクトのコーラスをオンにすると、音色に広がり加わります。電源を入れたとき(初期設定)は、各音色での最適な設定になります。

4: メトロノーム

パネルのMETRONOMEボタンを押すたびにメトロノームのオン、オフが切り替わります。電源を入れたとき(初期設定)はテンポ: ♩ = 120、拍子: なし、音量: 10です。

テンポ

鍵盤の「×100」(百の位)、「×10」(十の位)、「×1」(一の位)を押して設定します。たとえば ♩ = 85の場合は「×10」を8回、「×1」を5回押し、♩ = 140の場合は「×100」の位を1回、「×10」を4回押します。REVERBボタンとMETRONOMEボタンを離れたときに値が設定されます。設定範囲は ♩ = 40 ~ 240で、それ以外が入力された場合は無視されます。

拍子

「拍子」を押すたびに2/4→3/4→4/4→6/4→なし→2/4→...と設定が変わります。

音量

「小」を押すたびに音量が小さく、「大」を押すたびに音量が大きくなります。設定範囲は1 ~ 13です。

5: ピッチ

ピッチ(音の高さ)の調整範囲はA4=427.5 ~ 452.5Hz(ヘルツ)です。「上げる」、「下げる」を押すたびに0.5Hzごと上下します。「上げる」、「下げる」を同時に押すとA4=440Hzに戻ります。電源を入れたとき(初期設定)はA4=440Hzです。

※ USB-AUDIOの入力音量は、接続先の機器で調節してください。

6: MIDI

USBの接続については、コルグ・ウェブサイトから「L1/L1SP USB-MIDI/USB-AUDIO説明書」をダウンロードし、参照してください。

ローカル・オン、オフ

ローカル・オン: 本機の音源を有効にします。
ローカル・オフ: 本機の音源を無効にします。
エコーバックによる2重発音を避けるときは、無効(ローカル・オフ)にします。電源を入れたとき(初期設定)はローカル・オンです。

プログラム・チェンジ(PC)

PC無効: プログラム・チェンジを送受信しません。
PC有効: プログラム・チェンジを送受信します。
電源を入れたとき(初期設定)はPC有効です。

コントロール・チェンジ(CC)

CC無効: コントロール・チェンジを送受信しません。
CC有効: コントロール・チェンジを送受信します。
電源を入れたとき(初期設定)はCC有効です。

MIDIチャンネル

MIDIデータの送信チャンネルを設定します。「DOWN」を押すたびにチャンネル番号が小さくなり、「UP」を押すたびにチャンネル番号が大きくなります。電源を入れたとき(初期設定)はチャンネル1です。

7: デモ・ソング

本機には8種類の音色を使ったデモ・ソングが8曲入っています。デモ・ソングが割り当てられた鍵盤、1 ~ 8のいずれかの鍵盤を押してください。演奏は選んだソングから順番にくり返し演奏します。演奏を止めるときはREVERBボタンとMETRONOMEボタンを同時に押してください。

8: オート・パワー・オフ

本機は30分以上鍵盤を弾かない場合や自動演奏を再生していない場合に自動的に電源が切れます。この機能を無効にする場合は「オート・パワー・オフ無効」を押します。電源を入れたとき(初期設定)は有効です。無効に設定したあとに有効にする場合は、本機の電源を入れなおしてください。